

## ■証明書強制更新の方法

### ■certbot の場合

certbot では `--force-renewal` オプションを使用します。

```
certbot renew --force-renewal
```

### ■acme.sh の場合

acme.sh では `--force` オプションを使用します。対象のドメインを指定する必要があります。

```
acme.sh --renew -d example.com --force
```

ECC（楕円曲線暗号）証明書のプロファイルを指定している場合は、`--ecc` オプションを併用します。

```
acme.sh --renew -d example.com --ecc --force
```

## ■更新が完了したか確認する方法

### ■OpenSSL

以下のコマンドを実行して、出力される日付が更新されていることを確認してください。

```
echo | openssl s_client -connect example.com:443 -servername  
example.com 2>/dev/null | openssl x509 -noout -dates  
※example.com は対象のドメインに置き換えてください。
```

notBefore は、証明書更新操作を行った日時になります。

notAfter は、証明書更新操作を行った日時から89日後です。

### ■ブラウザで確認する場合

プライベートウィンドウなどの利用をおすすめします。